

BYD、ドイツ CAM 「Automotive INNOVATIONS Report 2026」 世界で最もイノベーティブな自動車メーカーで総合ランキング 1 位を獲得 中国自動車メーカーとして初めて世界首位に

- BYD がドイツ CAM 発表の「Automotive INNOVATIONS Report 2026」で世界首位を獲得
- 2005 年の調査開始以来、中国自動車メーカーとして初の総合ランキング 1 位
- 電動化・知能化分野における技術革新と垂直統合型開発体制が高く評価

BYD（本社：中国・深圳）は、自動車産業に特化したドイツの研究機関センター・オブ・オートモーティブ・マネジメント（CAM）が毎年公表している、「世界で最もイノベーティブな自動車メーカー」ランキングにおいて第 1 位を獲得しました。

CAM はドイツに拠点を置く自動車業界の研究機関であり、自動車メーカー各社の技術革新や市場への影響力を継続的に分析・評価しています。同レポートは欧州を中心に業界関係者やメディアから高い信頼を得ている調査として知られています。

BYD は 157 ポイントを獲得し、前年首位のフォルクスワーゲングループ（143 ポイント）を上回りトップにランクイン。メルセデス・ベンツは 134 ポイントで第 3 位となりました。

2005 年に CAM が同レポートを開始して以来、中国自動車メーカーが世界総合ランキングで首位を獲得するのは初めてとなります。今回の評価は、BYD が電動化技術、バッテリー技術、スマート化技術などの分野で継続的に推進してきた技術革新が、世界的に高く評価されたことを示しています。

CAM 「世界で最もイノベーティブな自動車メーカー」ランキング（上位）	
1 位	BYD（157 ポイント）
2 位	フォルクスワーゲングループ（143 ポイント）
3 位	メルセデス・ベンツ（134 ポイント）

BYD は近年、ブレードバッテリー（Blade Battery）、DM-i/DM-p ハイブリッド技術、e-Platform 3.0、CTB（Cell to Body）技術、iTAC（Intelligence Torque Adaption Control）システム、DiSus インテリジェントボディコントロールシステム、XUANJI アーキテクチャなど、数々の先進技術を市場投入してきました。

また、BYD はバッテリー、モーター、電子制御システム、自動車用半導体など、新エネルギー車の主要技術を自社で開発・生産する垂直統合型の事業体制を構築しており、世界の電動化市場における競争力を高めています。

今回の世界首位獲得は、BYD の技術革新力とグローバル市場における競争力の向上を示す重要なマイルストーンとなりました。

【BYD について】

BYD は 1995 年に設立されたハイテク企業であり、「技術革新でより良い暮らしを実現する」を理念に事業を展開しています。自動車、バッテリー、電子機器、新エネルギー、鉄道交通などの分野で事業を展開し、グローバルな脱炭素社会の実現に取り組んでいます。

自動車事業を担う BYD Auto は 2003 年に設立され、EV（電気自動車）および PHEV（プラグインハイブリッド車）の開発・販売を推進しています。2022 年には化石燃料車の生産を終了し、新エネルギー車に完全移行した世界初の自動車メーカーとなりました。

【BYD アジア太平洋自動車販売事業部について】

BYD アジア太平洋自動車販売事業部は 2012 年に設立され、深圳市坪山区にある BYD グローバル本社を拠点に、アジア・太平洋地域 20 以上の国と地域において乗用車、商用車、鉄道交通事業を展開しています。

現在、日本、韓国、東南アジア、オーストラリア、ニュージーランド、南アジアおよび太平洋諸島など主要市場に 13 の現地法人を設立し、革新的なモビリティソリューションの提供を進めています。

【参考資料】BYD（中国・深圳）が発表したプレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については当言語が優先します。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026 年 6 月 5 日（金）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム：<https://byd.co.jp/contact/>